

通信を出します。

4月、新たに着任した校長の藤井浩之です。ホームページでの挨拶にも記しましたが、創立70周年を迎える伝統ある上磯高等学校で勤務できることに喜びを感じています。愛知県一宮市出身である私は故郷から遠く離れて暮らしていても、高等学校勤務と言うことで上高生である皆さんを見ていると、ことある毎に母校での授業を受けた教室の空気感、陸上競技部で走ったグラウンドのトラックや部員同士のやり取りなどを懐かしく思い出し、人知れず58歳という実年齢を忘れて18歳の自分に戻っています。(気持ちだけ。(笑))

この夏季休業を迎えるタイミングで、不定期ですが校長通信を発刊します。

改めて・・・無事夏を迎えましたね。

上磯通信にも記しましたが、4月の始業式や入学式以降、定期水分補給やマスク脱着の時間確保等、新型コロナウイルス感染症への感染防止策を継続・徹底させることで、生徒の皆さんも窮屈な思いをしたかもしれませんが、無事に夏季休業を迎えることができホッとしています。

高等学校は在学中に学びを通して将来に向けての必要な知識・技能を身につけることを求められていることはもちろんですが、それだけではなく何物にも替えがたい思い出をたくさん創りあげることも大切です。

熱中症にも留意しながら、どうか佳き夏をお過ごしくださいね。

**8月、学校再開時に元気に登校してくださいね！**

再会を楽しみに
しています！

